

## 令和 2 年度下水道への紙オムツ受入れに関する社会実験について（予定）

### I. 社会実験の目的

国土交通省では、下水道への紙オムツ受入れについて、「下水道への紙オムツ受入実現に向けたロードマップ」に基づき検討<sup>1</sup>を進めているところ。これまでにニーズ調査や実証実験実施における基本的な考え方について検討を行っているが、紙オムツ処理装置については、現在開発・実証の途上であり、今後装置の開発の進捗に合わせて、装置が実装された場合の下水道施設への影響に関する評価・検証を行う予定。また、装置が普及した場合、介護や子育てなど幅広い分野での効果についても把握することが必要。

現在国土交通省住宅局にて平成 30 年度から実証中の試験<sup>2</sup>が令和元年度末で終了予定であることを踏まえ、国土交通省下水道部では令和 2 年度から 3 年度にかけて、A タイプ（固形分離タイプ）、Ba タイプ（破砕・回収（一体型）タイプ）の装置について、全国で 1 ～ 2 箇所程度の地域を選定し、装置が実装された場合の各分野への影響・効果等の確認を行う。

### II. 令和 2 年度社会実験概要

装置の検討が進んでいる A タイプの装置（A タイプガイドライン<sup>3</sup>に適合する装置。実験開始前に社会実験実施地方公共団体に性能等を確認いただく予定）を 1 ～ 2 施設、1 ～ 2 台/施設を設置する。

主な実験の内容は、装置の導入前後における、①装置を導入した施設からの排水状況の変化（水量、水質等）、②ます・流入地点付近の下水管内などの状態変化、③装置導入前後の設置施設の職員及び利用者のメリット・デメリット、④廃棄物分野への影響（収集・運搬、リサイクル状況等）等を把握する。

- 期間：2 ～ 3 ヶ月程度

※においの発生する夏、積雪のある地域はゴミ出しが難しくなる冬の時期の実験を想定。

- 実施場所：装置導入のニーズが高い介護施設等を想定

1 これまでの検討の経緯

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo\\_sewerage tk\\_000572.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage tk_000572.html)

2 サステナブル建築物等先導事業（次世代住宅型）

<http://www.mlit.go.jp/common/001259482.pdf>

3 A タイプ（固形物分離タイプ）の実証試験等実施における基本的な考え方（案）【下水道への紙オムツ受入に関するガイドライン（案）】

<http://www.mlit.go.jp/common/001282939.pdf>

○ 社会実験の実施形態

社会実験の実施は、民間企業等が主となり行うことを予定している。

**Ⅱ. 社会実験までのスケジュール（Aタイプ）**

令和元年

10月23日：社会実験（Aタイプ）への協力が可能な地方公共団体に対する事前説明会

11月頃：事前説明会に関する資料公表

令和2年～令和3年

1月～4月：社会実験実施者の決定

7月～1月：社会実験実施

1月～2月：実験結果とりまとめ

※Baタイプについては、令和2年度に説明会、令和3年度に社会実験を実施。